

事業実績報告書

様式2
(2018年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	E-19	講座名	実験！体験！かんきょうラボ
記載日	2018/12/3	団体名・企業名	名古屋市環境科学調査センター
<p>〈講座全体の概要〉(300字程度)</p> <p>水質、大気、騒音などの各分野において、普段何気なく接している環境を科学的な視点から観察した。</p> <p>「環境中の農薬を測ってみよう」では、日常使用する農薬が環境中にどのくらい存在しているのかを調べるために、参加者が持参した河川水や海水などに含まれている農薬の量を測定した。結果は全て基準値以下であった。</p> <p>「まだ降ってるの？ 酸性雨！？」では、酸性雨について、その歴史を振り返り、現状の課題を考えた。また、名古屋市に降った実際の雨や、雨に汚染物質が取り込まれる過程を疑似的に再現したサンプルの測定を行い、酸性雨に相当するpHであることを確認した。</p> <p>「音について聞いて見て体験してみよう！」では、音の強さや高さの変化を耳で聞いたり、その波形を目で見たり、音の響かない部屋の体験を通して音について参加者と一緒に考え、音に関する興味を深めてもらった。</p>			
<p>〈写真添付スペース(1~2点)〉</p>			
			
<p>※写真1の説明</p> <p>酸性雨疑似発生装置</p>		<p>※写真2の説明</p> <p>無響室（音の響かない部屋）の説明を聞く参加者</p>	
<p>〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)</p> <p>講座のねらいである「市民の方々が身近な環境・自然について関心を持ち、実験等を基本とした体験学習を通じて科学の視点から環境を考えていただく機会の提供」については、概ね達成できたと思う。</p> <p>60代以上の参加者が多いので、より多くの高校生や大学生が積極的に参加してもらえるような企画や案内方法を検討したい。</p>			
<p>〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明がとてもわかりやすかった。実験、実演があって楽しかった。 ・実験を交えてのセミナーでとても楽しく参加できました。 ・この為に実験装置を考えて頂きありがとうございます。 ・音と空気の関係は普段は考えていませんので、空気の大切さがよくわかりました。 ・講座の手法が適切だった。 			